

第3回下川町環境保全審議会 審議概要

日 時 平成29年2月6日(月) 13時30分～15時50分
場 所 役場2階会議室
出 席 者 林宏会長、牧村洋副会長、川島里美委員、渡邊大介委員、
瀬川聖子委員、坂入奈緒美委員 計6名
税務住民課 長岡課長、古内主幹、平木事務補 計3名

1 開会

2 会長挨拶

今回は議題が3本ある。よろしくお願ひしたい。

3 議案

(1) 答申(案)について

事務局：答申(案)の(1)説明

委員：(1)②の町民がごみを減らす適正な処理に向かうの「適正な処理」の表現を変えた方がいい。

事務局：サービスの提供の部分もわかりづらい

委員：経費と適正なごみの処理の部分を含んでもらえばいい。

委員：主語が町民であれば「サービスを受ける」でいいのではないか。

委員：「適正な処理に向かうような」も削除し、ごみを減らす工夫でいい。

事務局：さらにのあとの処理経費の部分はいるか。

委員：いらぬのではないか。

事務局：ごみを減らす工夫の前にごみ処理の経費の周知と入れてはどうか。

委員：いいのではないか。

委員：下川には、再使用する仕組みが本当になぬのか。布・衣類を集めているのはどうか。

事務局：ここで言うのは、前回の話などで自転車や子供のスキーをうまく交換できる仕組みがないということから、仕組みがないとしているが、ないわけではないので不足に修正する。

委員：今あるものを有効に使うために新しい仕組みが必要ということにした方がいいのではないか。

事務局：ごみを抑制・減量するためにごみをリユースする仕組みが必要といたった表現にする。

事務局：答申（案）の（２）説明

委員：③の最終処分場を長く使うには分別だけではないので、他の言葉も入れた方がいい。

事務局：再利用や減量か。

委員：他の市町村に徹底するといった表現はどうか。近隣の市町村と連携してといった表現の方がいいのではないか。

委員：この文章は必要だと思う。

事務局：広域市町村に共通する認識は必要だと思う。

分別の徹底を近隣の市町村と連携して周知するといった表現にする。

事務局：答申（案）の（３）説明

①統一した金額を統一化が図られるに修正する

委員：近隣の手数料は、下川町より高いか

事務局：高い。名寄市の料金を基準に検討される。

委員：加味ではなく比較になるのではないか。

事務局：広域処理になることに伴い、手数料が高くなるといった意味だが、もう少し簡単にした方がいいか。今後は、名寄で受ける場合は統一化される。「近隣の手数料を加味すると」を「広域処理に伴い」とするとしたらどうか。

委員：いいのではないか。

委員：「期限を設けて」とはどういうことか。

事務局：例えば、２年間は今の料金でいくとか３年間は今の２０%でいくといった期限。

委員：統一の料金が出てからか。

事務局：統一の料金が出てストックヤードで処理する金額を決めて、今の料金よりいきなり高くなるなら、例えば２年間は激変緩和措置を設けようといった考え。

委員：ここには期限の年数を入れない方がいいか。

事務局：年数と金額を両方考えるので入れない方がいいのではないか。

委員：期限に猶予をつけ、猶予期限にした方がいいのではないか。

委員：③について、「分別することを誘引するために」はなくていいのではないか。

委員：誘引するためだと今やっていないということにもなる。

事務局：誘引の部分を削除する。

事務局：答申（案）の（４）説明

委員：今は炭化ごみは全部名寄に持って行っているか。

事務局：全て持っていつている。

委員：し尿処理は下水処理とは別か

事務局：個別排水の汚泥やくみ取の尿などを名寄で処理している。

委員：炭化は炭にしているのか

事務局：炭にしている

委員：炭は何に使っているのか。

委員：融雪剤に使っていると聞いた。

事務局：土壌改良材と融雪剤に使っているが、施設運営に経費がかなりかかっている。

委員：富良野はエネルギー化していると聞いた。

事務局：RDF といっごみでペレットを作っている。

広域ならやれる可能性もあるかもしれない。

委員：将来的なビジョンがあるなら、優位性という言葉もいい。

産業や雇用が生まれるならいい。

優位性を拡張するなら、将来的なビジョンと入れた方がいいのではないか。

事務局：町のビジョンが出て、こういう地域づくりに合致することになれば検討も必要だと思う。

会長：他にないか。

事務局：今日出た意見を反映した答申を後日送る。確認いただき問題なければ、会長に答申していただく。

(2) 環境保全報告書について

事務局：平成 28 年環境保全の状況と施策に関する報告書に基づき説明

1 地球温暖化関係

委員：2P の 9 行目の使用料ではなく使用量である。

委員：蓄積増加したところから切ったと誤解を受ける可能性があるので、その内を外して、伐採活用した 8,299 m³を差し引いた 6,786 m³が蓄積純増加分とした表現にした方が良く思う。

委員：P9 の二酸化炭素の吸収・固定量の表に町有林の面積を記載したらどうか。これは町有林だが国有林はどうなのか。下川町の枠であれば国有林も入るのではないか。

事務局：吸収量は環境省に認可してもらっている数値。適正に間伐し管理

たもの。国有林は広葉樹や天然樹があり管理しているしていないでカウントの仕方も違ってくる。

委員：固定量とは何か。

事務局：固定とは、二酸化炭素を吸収したものをとどめること。燃やさない限り固定される。もともとの森林がどのくらい吸収して持っている、ここに1年間で成長し吸収したものを足している。

委員：森林等には森林の他に何かあるか。

事務局：草木バイオマスという研究会を立ち上げて、草木を含めて研究してきた。草を含めて等という表現にしていると思う。

委員：エコアクションポイント事業とクールチョイスキャンペーンのことが記載されているが、2つの区切りがわかりにくい。エコアクションは改善し、クールチョイスは実施している。どちらも実施していると思う。

委員：パンフレットを見ると、クールチョイスの中にエコアクションポイントがあると思う。

事務局：表現を修正する。

委員：不法投棄以外もごみを燃やすことに関しても触れてほしい。

野焼きとはごみを燃やすことは違うと思っていないか。

住宅街でも燃やしている。迷惑である。広報で触れていただいたが、もう1歩踏み込んでほしい。

事務局：P4にごみを燃やしてはいけないと入れる。

委員：今後作るパンフレットにも入れてほしい。

事務局：わからないでやっている人もいるが、わかってやってる人もいると思う。

委員：名寄市で罰金を取られた人がいる。ドラム缶で燃やしていた。

委員：ヤナギ以外に早く成長するものはないか。

事務局：産業大麻は早い。

委員：将来的に森林バイオマスの燃料を確保するためにはヤナギの他に別の木を植えるのも必要ではないか。

事務局：森林総研とともにポプラなども研究を進めている。

2 大気汚染

特になし

3 水質汚濁

委員：畜産の関係のバイオガスプラントについて水質に問題があるとか

悪臭が出ることはないか。

事務局：バイオガスプラントをやる方が水もきれいになる。

委員：悪臭も出ないし、水もきれいになることになる。

事務局：環境は良くなると思う。

4 騒音関係

委員：飛行機の音が夜しないか。夜の10時ぐらい。

事務局：自衛隊の夜間訓練ではないか。連絡は来ていないが。

事務局：演習でヘリが飛んでも役場に連絡はない。

事務局：昔は連絡が来ていた。

委員：法律が変わって、連絡がいらなくなったのではないか。

委員：苦痛を感じる人がいたらどう対応すればいいか。

委員：騒音の範疇に入らないのではないか。

委員：相手を調べるにはどうしたらいいか。

事務局：日にちと通過時間と位置を把握し、管制局や空港に確認する。

5 その他

事務局：アスベストを含めてもいいか。

飛散していなければ問題ない。今、飛散箇所を調査し問題があれば使わないような措置をする。

委員：学校関係はないか。

事務局：学校関係は問題ないと思う。

委員：そのような作業をしてるのであれば入れたら良い。

事務局：今、役場の煙突を調査している。アスベストが古くなり落ちてきて飛散したら問題がある。環境報告書なので、入れる必要があるのではないか。

委員：わかっているけど入れないのも問題である。入れて良いと思う。

(3) 地球温暖化対策実行計画について

委員：これは町の事業だけか。

事務局：町の事業だけ。

委員：民間の事業は把握していないか。

事務局：この中では把握していないが、域内の経済循環のアンケートなどで産業系でどれぐらいCO₂が出ているか把握している。

委員：エレベーターの使用の抑制には、公民館も含まれていると思うが、かなり使用されていると思うので抑制する必要がある。アイデア

を出し合ってうまくいけばいい。お年寄りやけが人以外はだめなど。子供も使用している。

委員：歩いたら何カロリー消費など掲示してはどうか。

事務局：制限は難しいので、歩くことを推奨するようなことが必要。

委員：公共交通を使うという文書も入れてはどうか。

富良野市は職員が使用してPRしている。公共交通を維持するためにも必要。

事務局：廃止になるとなってからではなく、その前から推進する。

委員：交通事故の問題もある。

事務局：公共交通の利用促進という項目を設ける。

委員：一般の住宅のペレットストーブなどに町が助成しているが灯油の削減に効果があると思うので、どこかに入れてはどうか。

委員：この計画は、民間も含むか。

事務局：町の施策でやっているのだから入れてはどうかということだと思う。

委員：直接・間接関係なく効果があるのであれば、入れてもいいのではないか。

事務局：3省資源・省エネルギー化の推進の中にペレットストーブ・まきストーブ等を積極的に活用するような施策を推進するといったことを入れる。住宅施策とエネルギー施策を追加する。

委員：2環境にやさしい製品の利用推進で下川のやっている森林認証も森林の循環の中で適正に使われると思うので、間伐材・再生紙と並列し、認証の適切な管理から生み出される製品を追加してはどうか。

事務局：グリーンマークに包括されないか。

委員：確認してもらいたい。

委員：化石燃料のため、森林バイオマスの積極的な利用とはどういうことか

事務局：バイオマスボイラーを利用し、灯油などの化石燃料を使わないということ。

委員：全体的なエネルギーを削減することが必要。森林バイオマスも積極的に使用していったら、そちらの資源も限りがある。違う表現はないか。

委員：積極的に削除しては。

事務局：化石燃料を積極的に森林バイオマスに切り替えるという意味。省エネルギーにしつつ、そこに再生可能エネルギーを導入する。森林バイオマスを活用して化石燃料の削減を図るといった表現にす

る。

会長：地球温暖化実行計画について他にないか。事務局からは何かないか。

事務局：答申内容と環境保全について、修正したものを後日配布するので確認をお願いします。

会長：他になければ、第3回環境保全審議会を閉会する。